



浜銀総研 News Release



平成 28 年 12 月 7 日

「浜銀総研ビジネスウーマン・アワード 2016」受賞者について

株式会社浜銀総合研究所(代表取締役社長 伊東眞幸、横浜市西区みなとみらい3丁目1番1号)は、神奈川の優れた女性経営者を対象とした「浜銀総研ビジネスウーマン・アワード 2016」の受賞者を、下記のとおり決定いたしました。

記

- 大 賞 栗田佐穂子(アソシエ CHACO 代表)
- 優秀賞 吉川かおり(株式会社横浜ベイサイドネット 代表取締役)
- 特別賞 内海亜紀子(ハップ・ビー・ビー株式会社 代表取締役)

以 上

【本件についてのお問い合わせ先】
(アワードの内容に関して)
株式会社 浜銀総合研究所
総務部 村松、平井
電話 045-225-2374
(本プレスリリースに関して)
企画部 松井
電話 045-225-2374

受賞者概要

大 賞 栗田佐穂子(くりた・さほこ)

アソシエCHACO 代表 (川崎市多摩区)

～ 服飾教育とユニバーサルファッションの普及を通じ、人の心の大切さを伝える

【授賞理由】

2006年の創業後、作る側と着る側の意思疎通を重視し、着る人、介護する人の気持ちに立った製作スタンスのもと、高品質で、おしゃれで、着やすい工夫に満ちた、多数のユニバーサルファッションを世に送り出し、高齢者や障害のある方々の「衣」に対する願いを実現してきた。

教室での授業に加え、ファッションショーの開催、講演活動、著書の出版等、多彩な活動を通じ、長年にわたって、ユニバーサルファッションに関する情報発信と普及拡大に努めてきた。

自らが校長となって創設したユニバーサル服飾高等学院は、不登校生への向き合い方を提示する社会的意義の高いものであると同時に、ユニバーサルファッションの将来の担い手作りという観点からも注目される。

大学卒業後、登戸ドレスメーカー学院教諭、副校長として服飾教育に従事するかたわら、1995年、ユニバーサルファッション^(注)のボランティア活動を開始。「欲しいから買いたい」の声に背中を押され、2006年、「アソシエCHACO」を設立し、ユニバーサルファッションの開発、製造、販売に本格的に乗り出す。作る側と着る側の意思疎通を重視し、着る人、介護する人の気持ちに立った製作スタンスのもと、高い縫製技術を持った専門家が作り出す高品質で、おしゃれで、工夫に満ちた衣料は、高齢者や障害のある方々の「衣」に対する願いを実現するものとして、地域社会から高い評価を得ている。2013年には、服飾を学びながら高校卒業資格が得られるユニバーサル服飾高等学院を開校。義務教育で能力を發揮しきれなかった生徒を対象とした少人数教育が特色で、2016年3月に3人の卒業生を始めて社会に送り出した。高齢化の進展により、ユニバーサルファッションへの社会的ニーズが今後も高まるなか、教育活動との有機的なつながりのもとでの、さらなる事業拡大が期待される。

(注)病気やケガ、年齢を重ねて身体が不自由になったときにも、着やすく、おしゃれで、尊厳を保ち、かつ着脱補助しやすい衣服のこと。

【略歴】

1968年 登戸ドレスメーカー学院教諭就任

1990年 登戸ドレスメーカー学院副校長就任

1995年 ボランティアグループ「糸の詩」立ち上げ

2006年 アソシエCHACO設立 代表就任

2013年 ユニバーサル服飾高等学院を開校

かわさきマイスター(2003年)、かわさき起業家大賞(2011年)、神奈川なでしこブランド(2014年)、かわさき基準認証福祉製品(2009年2件、2010年、2013年、2014年)、「からだにやさしい手作り服(NHK出版)」等著書多数、NHK・Eテレ講師(2014年)。

優秀賞 吉川かおり(よしかわ・かおり)

株式会社横浜ベイサイドネット 代表取締役(横浜市中区)

～ 女性の視点で、ゆとりとくつろぎのオーディオライフを提供

【授賞理由】

きめ細かなサービス対応と技術サポートにより、幅広い層のオーディオ愛好家から高い信頼を得ているほか、多くの海外有名オーディオ部品メーカーと代理店契約を結び、販売店への卸販売も手がけるなど、果敢な行動力とチャレンジ精神を武器に、ニッチな輸入オーディオの分野で着実に業容を拡大してきた。

女性目線を活かしたデザイン性や機能性の高いオーディオ製品の設計・製作も意欲的に手がけ、なかでも大手メーカーの開放特許を活用して開発・製品化した抗菌イヤークピースは、中小企業のオープンイノベーションの好事例として注目を集めている。

2003年、アジア雑貨とオーディオのオンラインショップからスタート。2004年、オーディオ専業となり、横浜市中区に店舗、視聴室をオープン。在庫管理と連動させたオンラインショップシステムを用い、きめ細かな対応で、個人顧客から高い信頼を得る一方、海外の多くの有名オーディオ部品メーカーと代理店契約を結び、メーカーへのOEM、販売店への卸販売などへも進出。女性目線を活かしたオーディオ製品の設計・製作も意欲的に手がけており、なかでも、神奈川なでしこブランドに認定された抗菌イヤークピースは、大手メーカーの開放特許を活用し、同メーカーのサポートを得ながら製品化したもので、中小企業のオープンイノベーションの好事例として関心を集めている。

【略歴】

団体職員、英国短期留学等を経て、プラント設計会社に勤務。勤務の傍ら、2003年8月、オンラインショップ「オーディオとアジア雑貨の横浜ベイサイドネット」をオープン

2004年9月、オーディオ専業の有限会社横浜ベイサイドネットを設立

2008年、自社開発ソフトウェア「SSC-01」が横浜市中企業開発助成事業に認定

2011年、「抗菌イヤークピース Clean Piece」が横浜市中企業開発助成事業に認定、2014年同製品が神奈川なでしこブランドに認定

2013年、株式会社化

2016年、ハイブリッド型オーディオパネル「アーティパネル」に関し、ものづくり補助金交付決定

特別賞 内海亜紀子(うつみ・あきこ)

ハップ・ビー・ビー株式会社 代表取締役(川崎市宮前区)

～ オリジナルパンケーキミックスで、健康志向の子育て層から高い支持を獲得

【授賞理由】

2006年、自らの子育て経験のなかから、離乳食として安心して与えられるオリジナルパンケーキミックスを開発し、以後、ネット通販やスーパー、専門店等での販売を通じ、長年にわたって健康志向の子育て層などから高い支持を得ている。

卓抜したマーケット眼に加え、女性パートのアイデア・工夫を引き出し、専門業者も驚くオリジナルな物流システムを築き上げるなど、女性が力を発揮しやすい職場作りにも秀でており、今後も高度なマネジメント力のもと、さらなる飛躍が期待される。

2005年創業。自らの子育て経験のなかで、「あったらいいな」を製品化したパンケーキミックス「ウルトラミックス」がヒット商品に。離乳食として安心して与えられ、美味しく、かつリーズナブルな価格を兼ね備えた商品性を特色とする。販売チャネルは創業以来ネット通販主体だが、パンケーキブームのなか、輸入食品店やスーパー、専門店などへの卸売りも拡大。マネジメント面では、女性パートのアイデア・工夫を引き出し、専門業者も驚くオリジナルな物流システムを築き上げるなど、女性が働きやすく、力を発揮しやすい職場作りを実践している。

【略歴】

会社勤務を経て、2005年、ハップ・ビー・ビー株式会社を設立し、製菓材料と雑貨のネット通販を開始

2006年、パンケーキミックス「ウルトラミックス」販売開始

2008年、楽天グルメ大賞受賞

2012年、東急ハンズ、生協等で「ウルトラミックス」販売開始

2014年、神奈川なでしこブランド受賞

以 上